

2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [金沢市立小坂小学校] 担当教諭名 [山口 諒] (4年2組 30名)

相手国・地域 [台湾]

海外学校名 [Rixin Elementary School] 担当教諭名 [王 慧玲]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	アートマイルの相手国のことをもっと知ってみよう	5
	学活	台湾の子達とウェルカムパーティーをしよう！	2
	図工	アートマイルの下絵、色塗りをしよう！	8

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	古い歴史と現代文化の融合 ～金沢と台湾の友好を込めて～
メッセージ (相手と一緒に 絵に込めた想い)	お互いの地域に伝わる古い歴史と、現代の文化を織り交ぜることで、古き良きを大切にしながらも、躍進を続けようとするメッセージを伝えられるのではないかと。 また、交流学习から、お互いのことをよく知ることができ、お互いに友好を深めることが出来たので、その様子を絵に織り交ぜた。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
子どもたちの世界に対するイメージが広がった点です。感想を聞くと「将来世界に関わる仕事をしたい」や「僕も台湾に行ったり、他の国に行ったりしてみたい」という意見が見られ、興味関心が高まったのではないかと考えています。	相手国との意思疎通が難しかったことです。相手国の先生のおかげで助かりましたが、こちらの求めているものと相手国の求めているものの若干の表現のずれがあったりして、狙ったものにならないことも何度かあった点です。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
台湾のことはとても好きになったと思います。子どもたちから、台湾に行ってみたい等の意見も聞けたり、交流した相手校の児童の名前を今でも覚えていたり、外国に対してのイメージが「楽しいもの」になったと思います。	私自身も、海外との関わりは今回の活動が初めてでした。初めは、海外に対するイメージもあまりなかったのですが、実際に国際交流をする中で「海外の国はこんなに暖かいのか」と感じる事が出来ました。それは、フォーラムで話し合うとき、テレビ会議で話をするとき、色々なところで感じる事が出来ました。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	フォーラムを通して、お互いのクラスの児童の自己紹介ビデオやカードを披露し合った。	自分たちが関わる、初めての海外の相手に非常に興味津々で、ワクワクしている様子だった。	総合 国語
共有 テーマ学習	10月	お互いに、お互いの国のことをインターネットや本などの資料を活用して、細かく調べ合った。その様子をしっかりと、フォーラムで共有した。	台湾の国旗や、国のマナー、料理など新しいことを見付けるたびに、より一層アートマイルに対する楽しい気持ちが高まっているように感じた。	総合 国語
融合 メッセージ 壁画デザイン	11月	お互いの歴史や現代文化の組み合わせをどうすればいいのかを、お互いにフォーラムで話し合った。	子どもたちの意見から、大人では発想も出来ないようなものが出てきたので、話し合いを多く設けたのは正解だった。	総合 国語
創造 壁画制作	1月	下書きと、色塗りを2日で一気に仕上げたが、子どもたちの役割分担を行い(混ぜ色役・箇所の色塗り役など)、子どもたちも満足できる仕上がりになりました。	描き終わったことで、達成感と喜びをとっても感じていました。しかし一方で、もうちょっとこうすれば良かったなあ、等の反省点も子どもたち自身で見付けていた。	総合 図工
評価 振り返り 自己評価	2月	送った相手国の反応をフォーラムで聞いたり、完成した絵の写真を見せたりした。	相手国との密な交流のおかげで、より一層達成感と充実感を得られることが出来ていたように感じた。	総合

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	4	相手に自国のことを伝えるために、もっと自分たちの住む国、地域のことについて詳しくなることができたため。
異文化の理解	A	5	調べれば調べるほど、自国との食事の違い、生活の違い、マナーの違いなどを知り、興味や関心が高まっていったため。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	5	実際に日新小学校が小坂小学校に交流に来た際に、ジェスチャーや片言の英語ながら楽しく、明るく関わっていたため。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	相手国や自国のことを調べるときにパソコンを使い、テレビ会議の時には大きな画面で Skype を子どもたちが使いこなしていた。
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	A	5	テレビ会議や交流で仲良くなった相手と、今でも「また遊びたい」や「会いに行きたい」と言い、相手意識も強いことが分かった。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	絵を描く際に、場所ごとにグループ分けし、分担して、1つの大きな絵を完成させるために一人一人が尽力していたため。
学習を追究する意欲	B	5	感想などから「またやってみよう」と「次合ったらこうしてみよう」などの思いを感じ、さらなる興味関心へと繋がっていると感じた。
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	A	5	子どもたちの柔軟な発想から、生き物としての「鶴」を描くのでは無く、文化も織り交ぜた「折り鶴」を描くことが出来たため。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	B	4	「思ったよりも絵が小さかった」などの感想も聞くことが出来、主観的では無く、客観的に作品を見ることが出来ていたため。